

学校経営方針

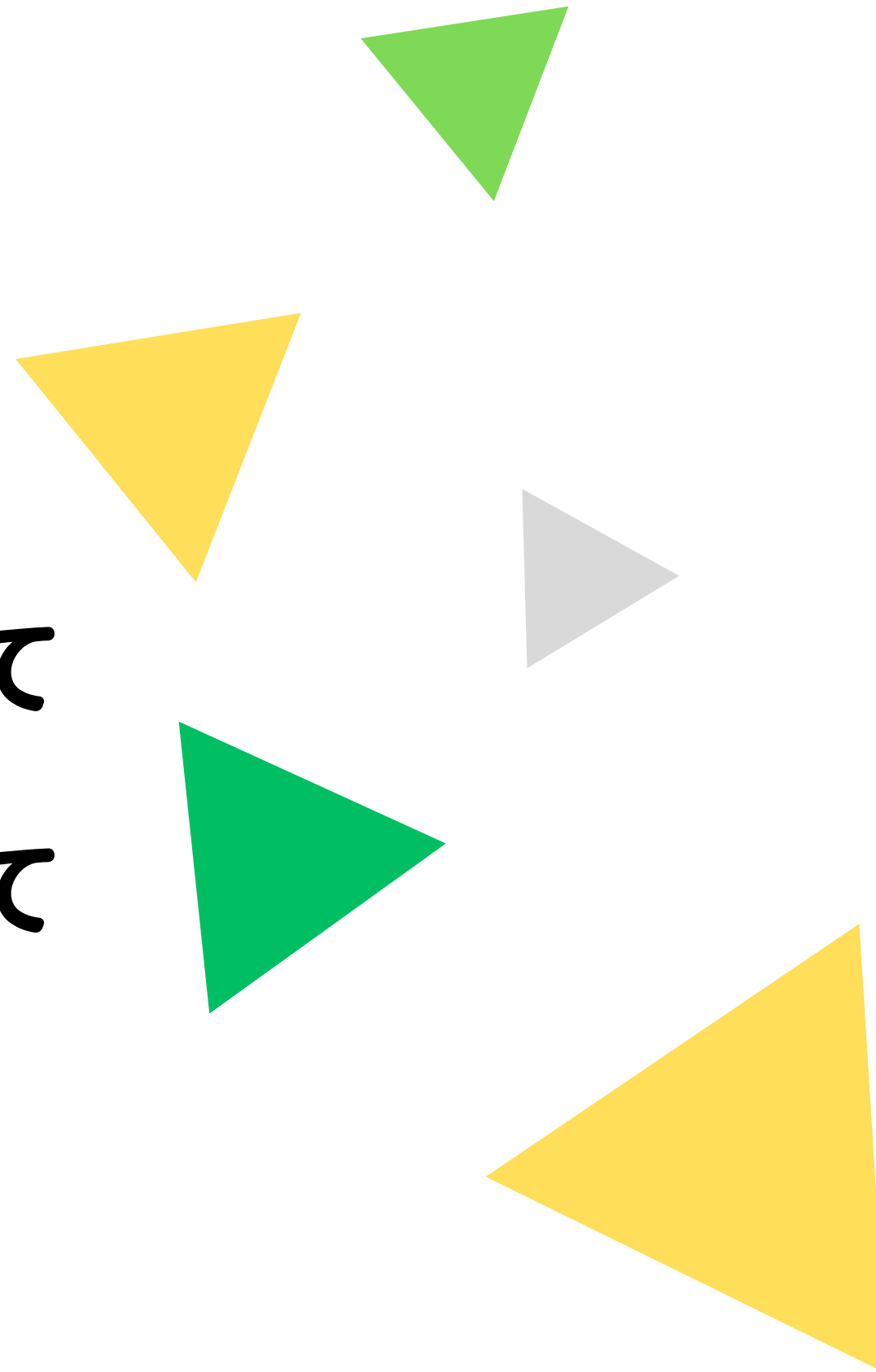
令和8年度PTA総会



浜頓別町立

浜頓別中学校

本日の流れ

- ① ご挨拶
 - ② 学校教育について
 - ③ 家庭教育について
- 
- A decorative graphic consisting of several triangles of various colors (green, yellow, grey) scattered on the right side of the slide.



学校教育

教育目標と今年度の重点についてお話しします。



学校教育

■校訓

Only one

一人一人がかかけがえのない存在として自他を尊重し、成長していく学校を目指し、校訓を「Only one」としました。安心して挑戦できる環境のもと、自分で考え自分で表現することを大切にしながら、誰一人取り残すことなく、社会の創り手としての資質・能力を育成していきます。

学校教育

■教育目標

自分の意志で考え判断し表現できる生徒（知）

自他を尊重し変化を前向きに捉える生徒（徳）

健康で安全な生活の中で挑戦できる生徒（体）

令和8年度
浜頓別中学校グランドデザイン
校訓 Only one

【目指す生徒の姿】	【目指す生徒の姿】	【目指す生徒の姿】	【目指す生徒の姿】
教育目標 自分の意志で考え判断し表現できる生徒	教育目標 自他を尊重し変化を前向きに捉える生徒	教育目標 健康で安全な生活の中で挑戦できる生徒	教育目標 一人一人のよさや可能性を引き出すことができる生徒
知識・技能 自分で考えたり判断したりするための基礎をもっている生徒	知識・技能 多様な文化や価値観、社会の変化を理解して人と関わることができる生徒	知識・技能 心身を健康で安全に保つための知識を実践して生活できる生徒	知識・技能 多様な他者と望ましい人間関係を築くことができる生徒
思考力・判断力・表現力 状況に応じて、多面的・多角的に考え事象に表現できる生徒	思考力・判断力・表現力 他と協働する力、積極的に行動し、課題を解決できる生徒	思考力・判断力・表現力 計画的に行動し、継続して学習や活動に取り組める生徒	思考力・判断力・表現力 変化を前向きに受け止めることができる生徒
学びに向かう力、人間性等 学びに向かう力、人間性等	学びに向かう力、人間性等 互いに認め合い、変化に柔軟に対応して成長しようとする生徒	学びに向かう力、人間性等 自らの身を大切にしながら成長に向けて挑戦している生徒	学びに向かう力、人間性等 変化を前向きに受け止めることができる生徒

令和8年度
主体性・思考力・回復力
～「なぜそうしたの？」「それはどう考えた？」「次どうしようか？」～

- 【1】誰もが安心して挑戦し成長できる学校づくり（学校運営）
○全教職員が関わる学級経営を基盤とした環境づくり
○「イェス・ノー」を徹底できる対話的な関係づくり
- 【2】社会に関わった教育課程の編成と実施（教育課程編成・地域連携）
○学ぶことの意義と本質に基づいたカリキュラムマネジメント
○地学協働による課題解決プロセスの習得と活用
- 【3】キャリア形成を目指す主体的な学習者の育成（学習指導・進路指導）
○一人一人が自分で考え表現することを前提とした授業改善
○自分と社会の未来を創るキャリア形成の自覚を促す進路指導
- 【4】自己指導能力の獲得への支援と多様な包摂（進路指導・特別支援）
○自他を尊重する安心できる環境における自己決定の場づくり
○きめ細やかな生徒理解に基づいた個別に合わせた支援の充実
- 【5】心身の健康に基づくレジリエンス（回復力）の向上（体の上・健康安全）
○体力向上プランに基づいた心身の健康づくりと実践と連携した生涯学習環境づくり
○柔軟な前向きな考え方で、よって立ちあがって成長できる回復力の向上
- 【6】教職員の資質・能力と働きやすさ・働きがいの向上（教員研修・働き方改革）
○授業力と指導力の向上を目指す支援的学習環境づくり
○対話によって自覚の裏付けを確立する定時制時代にあった成長環境の構築

■今年度の重点

令和8年度の重点

主体性・思考力・回復力

～「なぜそうしたの?」「それはどう考えた?」「次どうしようか?」～

学校教育

令和7年度の成果と課題を踏まえて、今年度の重点を上記のようにしました。

○浜中生のよさ

協働的な学習を通じて育った協調性

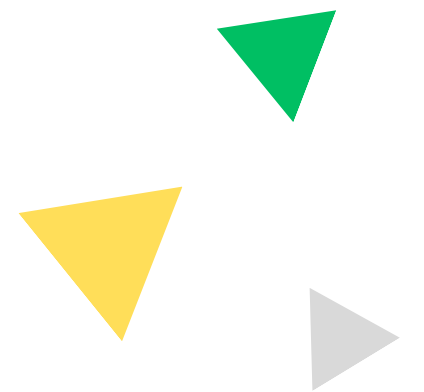
行事や特別活動などを前向きに楽しむ

▲浜中生の課題

自分で判断し責任を持って行動する

知識や知恵を働かせて自分で考える

失敗や間違いを避ける傾向にある



重点（1）

誰もが安心して挑戦し成長できる学校づくり

◇全教職員が関わる学級経営を基盤とした環境づくり

全校生徒58名に対して全教職員17名がホンキで向き合い、安心して挑戦できる環境を学級経営と授業を中心にしながらつくっていきます！

◇「ナイストライ！」を実感できる対話的な関係づくり

毎日の対話を通して、信頼関係を築き、結果だけでなく挑戦やプロセスを認められているという実感によって自己肯定感、自己有用感を高めます！

重点（2）

社会に開かれた教育課程の編成と実施

◇学ぶことの意義と本質に基づいた

カリキュラムマネジメント

学力とは「生きる力」です！学校の学びは社会へとつながります。そのことが実感できる授業、カリキュラムを実施していきます。

◇地学協働による課題解決プロセスの習得と活用

浜頓別町は学習資源の宝庫です！そして、社会の営みを学びに変えてくれるセンセイがたくさんいます。町全体が学びのフィールドです。

重点 (3)

キャリア形成を目指す主体的な学習者の育成

◇一人一人が自分で考え

表現することを前提とした授業改善

課題や問いに対して、まずは自分で考える。そして自分で表現する。できなかったことができるようになっていく授業改善を目指します！

◇自分と社会の未来を創る

キャリア形成の自覚を促す進路指導

進路とは高校進学がゴールではありません。キャリア形成の自覚は学習意欲につながります。1年生から希望調査をとるなど、進路について考えていきます！

重点（4）

自己指導能力の獲得への支援と多様性の包摂

◇ 自他を尊重する安心できる環境における

自己決定の場づくり

生徒指導の目的は自己指導能力の獲得です。「今、何をすべきか？」を自己決定できるよう支援します。

◇ きめ細やかな生徒理解に基づく個に応じた支援の充実

生徒は一人一人かけがえのない存在です。だからこそ一人一人を理解し、それぞれに適した支援ができるよう日々の対話や関わりを大切にします。

重点（5）

心身の健康に基づくレジリエンス（回復力）の向上

◇体力向上プランに基づく心身の健康づくりと
家庭と連携した生活習慣づくり

ココロもカラダも健康でないと学力は伸びません。
そのためには、生活習慣が大事です。ご家庭でのご協力もお願いします！

◇柔軟で前向きな考え方によって
立ち直って成長できる回復力の向上

挑戦すれば失敗もします。でも失敗はOK、やり直せばいいんです。そんな、しなやかさが成長につながっていきます。

重点（6）

I教職員の資質・能力と働きやすさ・働きがいの向上

◇授業力と指導力の向上を目指して

主体的に学び続ける教職員への研修奨励

先生方も勉強します！まだまだ若い本校の教職員。
生徒の可能性を引き出すためにも勉強し続けます！

◇対話によって日常の業務を研修とする

定時退勤時代にあった成長環境の構築

先生方の勤務時間は8:05~16:35です。実は授業以外にもたくさんの仕事があります。研修もしなければなりません。それでも、子どもたちのために頑張る先生方を応援してください。



家庭教育

本校の校訓、教育目標は学校教育だけでは実現できません。



家庭教育

■まずは「お願い」から

保護者の皆さんも「学校関係者」です。

学校づくりの一員として力を貸してください！！

こうしてお忙しい中、学校にお越しいただき、授業を参観し、PTA総会・懇談会にご出席いただきありがとうございます。

学校は一人で作ることはできません。みんなで作るものです。教職員、生徒、保護者、地域の方々、学校関係者のすべての方が学校づくりの一員です。

参観日や行事に来ていただけるのも本当にありがたいです。どんどん来てください！なんなら、なんでもない日に来ていただいてもかまいません。

学校づくりの一つとして、年2回の保護者アンケートがあります。どうすれば学校がもっと良くなるか、すべての生徒のためになるか、そんな視点でご意見をいただけると、学校づくりがさらに進みます。どうぞ、よろしくお願ひします。

家庭教育

■家庭教育のススメ

家庭は子どもにとって根本的な教育の場です

教育基本法 第10条

「父母その他の保護者は、子の教育について**第一義的責任**を有するものであって、**生活のために必要な習慣**を身に付けさせるとともに、**自立心**を育成し、**心身の調和のとれた発達**を図るよう努めるものとする。」

これが、家庭教育について定められた法律です。

もちろん学校教育にもたくさんの法律が定められていますが、教育基本法の定義から考えると、学校教育と家庭教育はそれぞれが役割分担や協力をしながら、子どもを育てていくべきだということがわかります。

家庭教育

■家庭教育のススメ



基本的な生活習慣



学習習慣づくり



スマホ管理

学校と家庭の役割分担で考えると、この3つについては学校教育だけでは難しく、家庭教育のチカラがどうしても必要です。いずれも、ご家庭で過ごす時間に大きくかかわることだからです。

基本的な生活習慣

家庭教育

起きる時間や寝る時間、バランスの良い食生活、持ち物の管理、歯磨きや入浴などの健康や衛生に関わる習慣、言葉遣いやマナーなどの躰、家庭教育のおかげで、明るく素直な子どもたちが育っている浜頓別町。本当にありがとうございます。

子どもの可能性や能力を最大限に引き出し、成長を促すためには心身の健康が欠かせません。そのためには、これらの基本的な生活習慣が本当に重要です。



学習習慣づくり

家庭教育



授業時間だけで学習すべきことのすべてが定着することは、なかなか困難です。授業で学んだことを繰り返し活用したり、忘れないように復習したり、という自学自習と授業を合わせて学習は定着していきます。

これは、中学校だけでなく生涯にわたって必要な学び方です。大人になったって自分の仕事のための学びが必要です。だからこそ、「学習習慣」を身に付けていく必要があります。

家庭教育の中で、「学習習慣」の時間の確保などにご協力いただきたいと思います。

家庭教育

スマホ管理



スマホを使用する場面は学校にはありません。もちろん、スマホの所有も必須ではありません。スマホを持つことを、子ども自身と保護者が選んだということになります。

便利ですがリスクがあることをご承知だと思えます。ネットモラルの指導はもちろん学校でも行っていますが、実際のSNSやゲーム内のトラブルは予防も指導も学校では困難です。

スマホ使用上のルール、フィルタリング、SNSやゲームの管理などは家庭教育のチカラが必要です。

また、悪質なトラブルについて、場合によっては警察の捜査が必要になります。ご理解ください。

ありがとうございました

校長からは以上となります。

ご清聴いただき、誠にありがとうございます。

今年1年間、浜頓別中学校をよろしくお願いいたします。

よろしければ右の二次元コードを読み取り、学校経営方針へのご意見をお寄せください。

